



# 岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

平成 30 年 12 月 14 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2018 年第 49 週  
(12/3~12/9)  
11 月報合併号

- インフルエンザの患者報告数が、流行入りの目安とされる定点当たり 1 人を超えました。→トピックス
- 感染性胃腸炎は増加が続いており、特に岐阜地区で患者の報告が多くなっています。
- 伝染性紅斑は、岐阜・西濃地区を中心に引き続き患者が報告されています。

## ■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

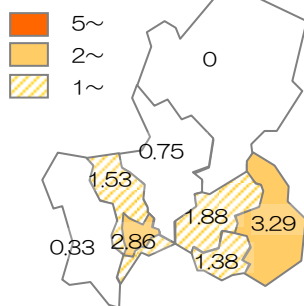
レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—	—
注意報レベル	なし	—	—

※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。

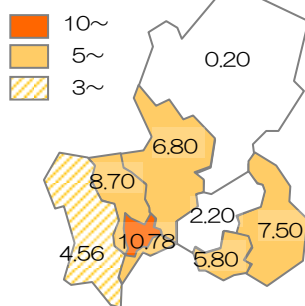
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後 4 週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

### ● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

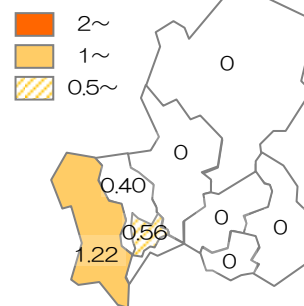
#### <インフルエンザ>



#### <感染性胃腸炎>

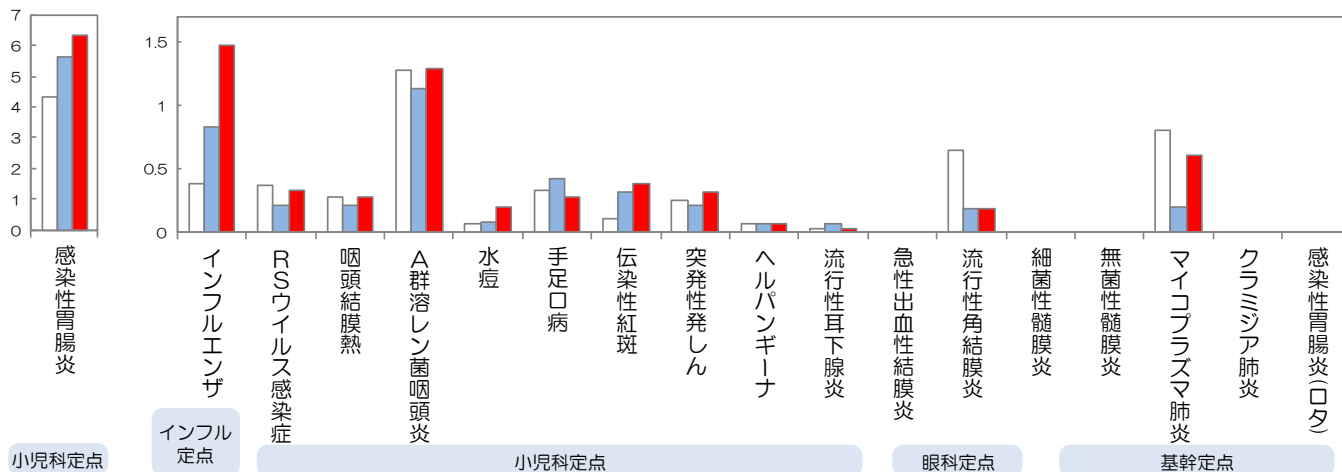


#### <伝染性紅斑>



### ● 直近 3 週の推移

□ 前々週 □ 前週 ■ 今週（縦軸は定点当たり報告数）



## ■ 全数把握対象疾患の発生動向

### ● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 10 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 2 例、百日咳 4 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

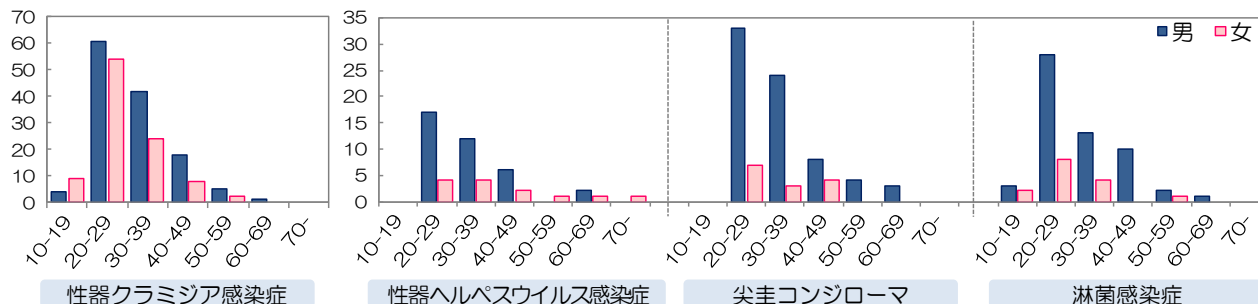
感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

## ■ 月報告定点把握対象疾患の発生動向 <11月>

### ● 性感染症報告数（STD定点：15か所）

疾患名	11月	男			女		
		11月	10月	9月	11月	10月	9月
性器クラミジア感染症	17	10	13	12	7	10	12
性器ヘルペスウイルス感染症	5	5	5	5	-	2	1
尖圭コンジローマ	8	6	9	10	2	2	-
淋菌感染症	2	2	9	7	-	2	2

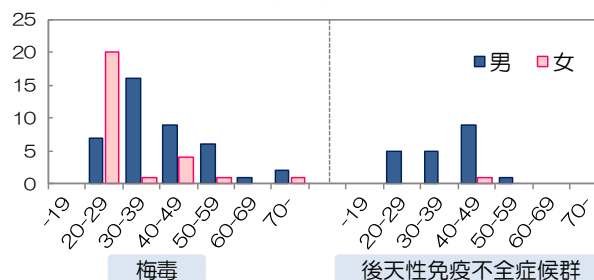
### <性・年齢階級別報告数（2018年1～11月）>



### （参考）全数把握対象の性感染症 報告数

疾患名	11月	1～10月	累計	男	女
梅毒	6	62	68	41	27
後天性免疫不全症候群	1	20	21	20	1

### 性・年齢階級別報告数（1～11月）



### ● 薬剤耐性菌感染症報告数（基幹定点：5か所）

疾患名	11月	10月	9月	8月	7月	6月
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25	11	10	12	10	12
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	3	3	3	2	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	1	-	-	-

## ■ 病原体検出情報

### ● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況（11月採取分、12月12日現在結果判明分）

臨床診断名	病原体名（遺伝子検出を含む）	検出数
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH1pdm09	8
	インフルエンザウイルス AH3	1
伝染性紅斑	ヒトパルボウイルス B19	1
突発性発しん	ヒトヘルペスウイルス 6型	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1型	1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264型	1
感染性胃腸炎	<i>Campylobacter jejuni</i>	1
腸管出血性大腸菌感染症	<i>Escherichia coli</i> O157:H- VT1&2	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	<i>Escherichia coli</i> NDM型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性	1
	<i>Klebsiella pneumoniae</i> カルバペネム非産生	1
侵襲性肺炎球菌感染症	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 血清型15A型	1

※病原体検出情報の詳細についてはHPをご覧ください（毎週更新）。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/byougentai.html>

## ■ トピックス

### ● インフルエンザ

#### ◇ 県内で流行入りしました

県内のインフルエンザ定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は、第49週に定点当たり1.47人となり、流行入りの目安とされる定点当たり1人を超えました。

今シーズンは、昨シーズンより1週、一昨シーズンより3週遅い流行入りとなりました（図1）。

また、今シーズン第49週までに、すでに県内15の小中学校でインフルエンザによる学級閉鎖等が行われています（表2）。

岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスシステムによると、第36～49週（9月3日～12月9日）に報告された患者の迅速診断キットによるA・B型別割合は、A型が98%を占めており、現時点ではA型が主流となっています。

今後の動向に注意し、本格的な流行に備え、予防対策が必要です。

#### ◇ 手洗いや咳エチケットの徹底を

基本的な予防対策としては、外出後の手洗いを励行すること、流行期には人ごみを避けること、やむを得ず人ごみに出る場合にはマスクを着用することなどが挙げられます。また、感染拡大を防止するためには、咳エチケットによる飛沫感染対策が重要となります。

インフルエンザワクチンは、発症した場合の重症化予防に有効であるため、65歳以上の高齢者などは定期接種の対象となっています。

#### ○ 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約5,000か所（岐阜県87か所）のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。（保健医療課 HP）

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-ki jun.html>

図1 インフルエンザ患者報告数（岐阜県：87定点）

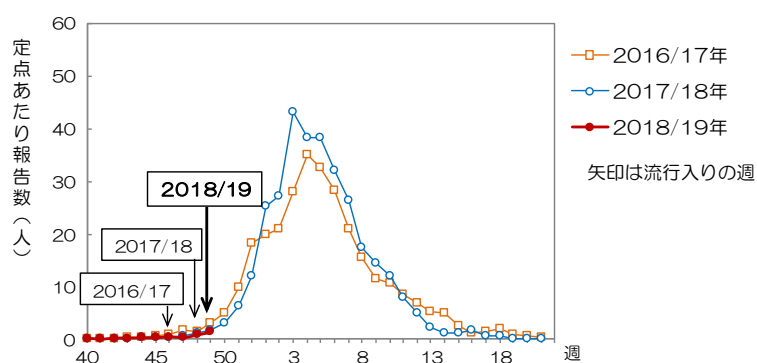


表2 インフルエンザによる学級閉鎖等を行った学校数

月	学校数	学校所在地
9月	2校	高山市、山県市
10月	1校	美濃加茂市
11月	6校	岐阜市、各務原市、美濃市、関市
12月	6校	各務原市、多治見市、中津川市、恵那市

※12月は1～9日

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>